

ニッペ ケンエースG アクト® II

概 要

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

ニッペケンエースGアクトIIは、NAD形アクリル樹脂塗料の特長であるやに止め性・防かび性・付着性の良さに加え、施工中や施工後の臭気を大幅に低減した塗料です。

特 長

- 1 低臭溶剤を使用することにより、施工中や施工後の臭気を大幅に低減しました。
- 2 やに止め性があり、旧塗膜に付着したタバコのやにがブリードしません。
- 3 防かび機能があるので、湿度が高いところの塗装に最適です。
(※) 防かび効果はかびの繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 4 シーラー不要で付着力が良好です。
(※) 新設時および素材の種類や下地によっては、シーラーが必要な場合があります。
- 5 防火材料認定 (認定番号NM-8585・QM-9816・RM-9364)



性 能

白および淡彩

試 験 項 目	規 格	試験結果
容器 中 の 状 態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合 格
塗 装 作 業 性	はけ塗りおよびローラーブラシ塗りに支障があってはならない。	合 格
塗 膜 の 外 観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合 格
乾燥時間 h (半硬化乾燥)	5時間以内 (23℃)	1
隠 ぺ い 率 %	90以上	93
耐 水 性	水に浸したとき異常がないものとする。	合 格
耐 アルカリ性	アルカリに浸したとき異常がないものとする。	合 格
促進耐 候 性	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくならないものとする。	合 格

商品体系

工 程	商 品 名	系 統	容 量	色 相	つ や	塗り面積/缶当たり/1工程	ポットライフ (23℃)
上塗り	ケンエースGアクトII	低臭形NAD アクリル樹脂塗料	16kg 4kg	各 色	つや消し	80~123m ² 20~30m ²	—

※上記に記載されている1缶当たりの塗り面積は、1工程当たりの塗り面積です。また、あくまでも目安であり、素地の形状により増減しますので、あらかじめご了承ください。

ケンエースGアクトII原色	容 量	色 名
	16kg・4kg	ブラック・インディアンレッド・オーカー・シャニンブルー・エクセレントレッド・エコロエロー

用 途	適用下地：モルタル、コンクリート 旧 塗 膜：AEP・SOP・VP・AE・水性つや有りエマルジョン
-----	--

⑨ 繊維壁、耐火被覆用ケイカル板、ロックウールなどの非常にぜい弱な素材には塗装できません。

ニッペ ケンエースGアクトⅡ

使用方法

混合：使用前に十分かくはんしてください。

希釈剤：ケンエースGアクトシンナー（塗料用シンナーAも使用できますが、シンナー臭が出ます。）

塗 装 方 法	はけ塗り	ウールローラー塗り		エアレススプレー	
被塗面の状態	平滑面	平滑面	粗面	平滑面	粗面
希釈率（%）	0～5	0～5	0～5	5～10	5～10
使用量（kg/㎡/回）注	0.13～0.15	0.13～0.15	0.15～0.20	0.14～0.16	0.15～0.20

※ 上記の数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）。

※ カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

注）「ケンエースGアクトⅡ」の塗付け量は、0.10kg/㎡/回です。・使用量：被塗表面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の使用質量・塗付け量：被塗表面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の付着質量

施工上の注意事項（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください）

- ケンエースGアクトⅡの下塗り材として一液ファインシーラーまたはACホワイトシーラーを使用すると、割れが生じるおそれがあるため、使用しないでください。
- 鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。エスパワンドⅡでの逆タッチアップはしないでください。
- つや消し系の製品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて底の沈降物を十分にかくはんし、均一な状態でご使用ください。
- 防かび効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 塗装後24時間以内など乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の悪い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願いします。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 異なる色相を塗り重ねる場合（例：1回目の上塗り塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗る場合など）2回目の上塗りを行う1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色（ブリード）によりする場合がありますのでご注意ください。
- カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などが塗装されるような場所には塗装しないでください。油脂分（人の手油などを含む）やアルコールなどがつくと、塗膜が軟化して色移りする場合があります。
- 旧塗膜に発生した藻・カビは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着障害をおこすおそれがあります。
- 内部塗装に際しては旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行なってください。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご確認ください。
- 外部の風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーをご使用ください。
- 蓄熱されやすい建材（軽集モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なると、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- 塩化ビニールクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスの接着能力が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がることがありますので、クロスの合わせ部などにはあらかじめ接着剤などで抑えておくことが安心です。
- 素地は含水率10%以下、pH9以下となるように調整してください。
- 表面のごみ、ほこり、エプロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目遣い、ジャンカ、コールド

- ジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフォー、ニッペファイラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください）
- 外部では、素地にセメント成分などが使われている場合は、エプロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 外部新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透シーラー（新）、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分にしてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに溶入したイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- 調色には必ず専用の原色をお使いください。
- 濃彩色や溶入した原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。
- 大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで塗ってください。
- 汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材と素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密閉してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。

安全衛生上の注意事項（ニッペケンエースGアクトⅡ 白）

- 本家の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- 熱・火花・炎・高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
- 容器を密閉してください。
- 容器および受器を接地してください。
- 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用してください。
- 火花を発生しない工具を使用してください。
- 粉じん・ガス・蒸気・スプレー等を吸入しないでください。
- この製品以外は、環境への放出を避けてください。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
- 汚染された作業衣は密着袋に入れて作業場から出してください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。
- 適切な保護手袋・保護眼鏡・保護面・保護衣を着用してください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- 肌の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水がシャワーで洗ってください。
- 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- 取り扱った後、手を洗ってください。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。

- 直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- 緊急の洗浄が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 水を消火に使用しない。
- 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- よくふたをし、5℃～40℃の屋内で貯蔵してください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 60℃以上の温度に暴露しないでください。
- 施設して子供の手の届かないところに保管してください。
- 直射日光や水漏れは厳禁です。
- 積み重ねは3段までとってください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にしないでください。
- 内容物/容器を廃棄する時には、国・地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗料具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
- 容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すことと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。

- 詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- 本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険

危険有害性情報



引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ/発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/呼吸刺激を起こすおそれ、または、眼やめまいのおそれ/水生生物に毒性(急性)/長期的影響により水生生物に毒性

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

- ISO14001を全事業所で認証取得。
- このカタログは、再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

●「本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。」

●©Copyright2008 NIPPON PAINT Co.,Ltd All right reserved.]

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物

検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz/building.html>

カタログNo.

NP-M107

NB080905T

2008年9月現在